

授業実践：「自己理解」啓発プログラム⑤

平成31年1月16日（水）5校時
糸満市立 光洋小学校
ひまわり1組 男子5名女子2名 計7名
指導者 比嘉 瑞乃

1. プログラム名 「未来設計図を作ろう」

2. 領域

特別活動：学級活動（3）
ア 一人一人のキャリア形成と自己実現
・現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
・学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとすること。

3. ねらい

○なりたい未来の自分を思い描くことで、現在の自分と向き合い、夢実現のための目標を立てることができる。

4. 児童の実態

本学級には、変わらず抱き続ける憧れの職業がある児童もいれば、自分自身の将来に対する関心が弱く、夢をイメージすることが難しい児童もいる。
目標をもつことで、一つ一つ、段階的なステップを踏みながら、自分の力にかえていく本学級の児童にとって、夢や希望をもたせることは、自分らしく前向きに生きる力につながるものだと考える。
職業と結びつけて将来をイメージするだけでなく、自分にできること、自分のよさや自分らしさに気付かせ、持ち味の生かし方を考えていくことで、児童本人の自信につなげ、将来の自分への期待感もたせながら日々の生活を充実して過ごさせたい。

5. 学級活動（3）の評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
・現在及び将来にわたってよりよく生きるために自分に合った目標を立て、自己のよさを生かしながら他者と協働して主体的に行動しようとしている。	・自己の生活や学習の課題について考え、自己への理解を深め、よりよく生きるための課題を見だし、話し合って意思決定し実践しようとしている。	・働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要なことを理解している。

6. プログラム（教材）について

夢や希望は、明日を生きていく原動力となるものであり、児童が現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して物事に取り組むことは、「今の自分」に価値や意味を見いだすことにつながる。変化の激しいこれからの時代を生き抜く子供たちには、自分自身で自分の未来を切り拓いていくことが求められ、将来に向けて希望や目標をもって力強く生きていこうという意欲や態度を身に付けることは重要な課題だといえる。

特別活動の目標には、学びに向かう力、人間性等として、「自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。」と示されている。学校教育活動全体を通したキャリア教育の面からも、日頃から、今取り組んでいることの意味を理解させながら、どんな人になりたいのか、どう生きていきたいのかを個々の発達段階に応じて考える場を設定していくことが大切だと考える。

そこで本プログラムでは、これまでの活動でまとめてきた自己理解の材料を生かし、興味や関心をはじめ、自分の持ち味、あこがれ等と向き合いながら未来を設計する活動を進め、明るく前向きに生きていこうとする心情と態度を養っていく。なりたい自分の姿を思い描く中で、これからがんばっていききたい目標を意識づけ、将来の自分への希望や期待を膨らませながら明るく努力していこうとする児童の育成をめざしたい。

7. 指導観

本授業では、「未来設計図」を作成する過程に自己理解、意志選択、意志決定の場を設定し、自分の未来を自分で切り拓くことの楽しさを感じさせ、自己のよさを生かした行動実践へとつなげていく。本研究を進めるにあたり事前に行った聞き取りアンケートでは、「わくわくすることや、やってみたいことがある」の項目で、7名中4名が「とてもある」、3名が「あまりない」との回答であった。普段の生活において興味や関心、挑戦の気持ちを広げ様々な経験を積み重ねることが、自信や可能性、将来への希望につながっていくことを期待し、本授業では、以下の点に留意しながら指導にあたる。

- (1) これまで行ってきた活動の記録を自分に関する情報として活用し、「未来設計図」として1枚のシートに組み合わせていくことで、現在の自分と向き合いながら、なりたい将来像を思い描けるようにする。
- (2) 職業名だけにとどまることなく、自分の興味や特技、よさ等を生かし、「どんなことをしたいか」「どんなふうに人の役に立ちたいか」を考えさせる。社会との関わりも意識させながら将来の自分の姿を思い描けるよう、これまでの生活の中で、周りの人の役に立った経験や、周りの人に喜んでもらえた経験を思い起こさせる。
- (3) 自分の将来をデザインしていくことの楽しさを感じられるよう、これまでの学習の記録を本時の活動の材料として準備しておき、「未来設計図」に絵や言葉、写真を添えながら、自分だけのオリジナル作品に仕上げ、将来への希望や期待を広げられるようにする。
- (4) 授業後、家庭に協力依頼し、「未来設計図」を広げながら、これからの生活や将来の夢について親子で語り合う場を設定してもらう。家族からの応援の言葉を受けながら、将来への希望や期待を高め、自分で立てた行動目標への達成意欲へとつなげていく。

8. 本時の準備物

これまでの活動の記録（黒板掲示用）・未来設計図・未来設計図に貼っていく個人用資料（未来への扉カード・友達からのメッセージ・写真等・目標カード）・お仕事カードの掲示物・ふり返しカード

9. 本時の展開

	学 習 活 動	教師の支援・指導上の留意点	評 価
導入 7分	1. 前時までの活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・まわりで応援してくれている人たちが、幸せを感じるものに支えられて、今、自分がどんなことをがんばっているのかを考えさせる。 ・児童一人一人のがんばりを認め、自信につなげる。 ・これまでの学習の記録を振り返りの材料として黒板に掲示しておく。 	
展開 33分	2. 今日のキーワードの提示 3. めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">☆未来設計図を作ろう</div> 4. 将来の夢について考える 5. 現在の自分の情報を「未来設計図」にまとめる 6. なりたい未来の自分を思い描く	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてに生かすため、「自己理解啓発プログラム」の5つ目のキーワードを提示する。 <p>今日のキーワード 「自分」→自分を知って 自分で つかもう 未来の自分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今がんばっていることが、未来の自分を作る力となることに気付かせ、今日のキーワードの補足とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「設計図」の意味を説明し、これまでの学習で記録してきたことを材料に未来の自分をデザインし、まとめていく活動であることをおさえる。 ・「将来の夢」と聞いて想像したことを未来への扉カードに自由に記述させる。→第1段階記述 ・夢に職業名を書く児童が多いことが予想されるため、イラストでのイメージを広げられるよう、お仕事カードの掲示物（仕事分類表）を用意しておく。 ・本時で作成した仕事分類表について簡単に説明し、好きなこと、得意なこと、自分の持ち味を生かすことで、職業の選択も広がることに気付かせる。 ・「未来設計図」には、前時までに自分で書いた記述メモを基に、授業①で友達からもらったメッセージカードを貼っていく。 ・カードの言葉を読みながら貼っていくことで、これまでの学習を生かして自己理解を深めていく。 ・「未来設計図」にまとめた現在の自分情報を見ながら、なりたい未来の自分について具体的な言葉でまとめる。→第2段階記述 ・穴埋用のシートを用意しておき、児童の実態に応じて活用させる。 	<p>○興味や関心、特技などの「自分らしさ」を生かすことで、将来の自分には多くの可能性が広がることを理解することができる 【知識・理解】</p> <p>○現在の自分を振り返りながら、なりたい未来の自分の姿を思い描くことができる。 【関心・意欲・態度】</p>

	学 習 活 動	教師の支援・指導上の留意点	評 価
展 開 33 分	<p>7. 将来の夢を発表する</p> <p>8. なりたい自分になるためにこれからがんばりたい目標を立てる。</p>	<p>例：「私は・・・が好きなので、 どんな〇〇になりたいです」</p> <p>「ぼくは・・・が得意なので、 〇〇になって、～をしたいです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な言葉が出にくい児童には、未来設計図に書かれている内容を説明しながら自己理解を促し、将来の自分への想像を引き出していく。 ・書いたシートは、未来への扉カードに貼り付ける。 ・第1段階と第2段階の記述を読み比べさせ、自分自身と向き合うことで、なりたい自分の姿がわかりやすく描き出せたことに気付かせる。 ・学級メンバー一人一人が、友達の夢を支える応援団であることを意識づけ、温かい雰囲気の中で安心して発表ができるようにする。 ・発表を通して自分の将来へのイメージを広げると同時に、友達の発表を聞いて他者理解を深める場とする。 ・将来の自分への希望や期待を膨らませながら、今の自分にできる目標を考え、目標カードに記入する。 ・3学期の目標など、これまでの目標の立て方を思い出しながら考えさせる。 	<p>○夢実現に向けて、今の自分にできる目標を考え、これからの生活に生かそうとしている。 【思考・判断・実践】</p>
ま と め 5 分	9. 本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・夢実現のための目標を確認し、前向きに学校生活や家庭生活を送ることができるようにする。 ・将来の夢に向かってがんばる児童へ教師からのメッセージを贈る。 <p>「夢に近づくあいいうえお」 あ あかるく い いっしょうけんめい う うきうき え えがおで お オンリーワンの自分を大切に</p> <p>※未来設計図は、6校時の「これまでの授業の振り返り」の時間の中で、コラージュ的な制作の時間をもって完成させ、全体発表につなげる。</p> <p>※本時の振り返りカードは、完成した未来設計図を見ながら書かせる。</p>	

10. 評価

- 興味や関心、特技などの「自分らしさ」を生かすことで、将来の自分には多くの可能性が広がっていることを理解することができたか。【知識・理解】
- 現在の自分を振り返りながら、なりたい未来の自分の姿を思い描くことができたか。【関心・意欲・態度】
- 夢実現に向けて、今の自分にできる目標を考え、これからの生活に生かそうとしているか。【思考・判断・実践】

授業のしめくくり

教師からの応援メッセージに添えて

ゆめ

ちか

「夢に近づく あいうえお」

あ あかるく

い いっしょうけんめい

う うきうき

え えがおで

お オンリーワンの自分を
大切に